



2000人の心が一つになった運動会

校長 手代木 英明

今年の運動会も天候に恵まれ、1,500人を超える保護者・地域の皆様にお越しいただきました。皆様から熱く温かい応援をいただき、子供たちは最後まで力を発揮することができました。また、テントの片付けにはたくさんの保護者の方々にお手伝いをしていただき、短時間で撤収することができました。学校と保護者・地域でつくる「チーム西原」の大きな力を感じました。ありがとうございました。

運動会前に、「短距離走では、最後まであきらめない強い気持ちをもって走る。」「団体競技では、頭を使って作戦を練り、力を合わせて戦う。」「ダンスや組み体操では、心を合わせ思いやりの気持ちをもって演技する。」と子供たちに話しました。当日の子供たちは、目標をはるかに超える素晴らしい発表でした。特に放送アクシデントがあった6年生の組体操は、参観者と児童の合計2,000人の大きな手拍子に合わせて、すべてのタワーが成功しました。集中力を切らさずに、最後まで演技を続けた6年生は、とても立派でした。

また、5・6年生は、係活動もとてもよくできました。「みんなのために」「西原小学校のために」というボランティア精神は、愛校心につながります。そして、4・5・6年生の応援団は、赤組・白組を見事にリードしました。

下校時に片付けの終わった校庭を歩く子の中に6年生の組体操の振りや5年生の南中ソーランの動きの真似をしている下級生がいました。

今年の運動会の成果は、来年につながっていきます。



力強い動きの南中ソーラン。



楽しいステップもあった組体操。

もしもの時、強い味方。「防災訓練&消防団」

4月29日の「昭和の日」に西原小学校防災訓練が実施されました。地域の方々を中心となり、PTAと学校が協力して、仮設トイレの設営や非常水の確保の訓練をしました。西原小学校は、災害時に避難所となります。備蓄倉庫には被災者のための非常食や救急用品が備えてあります。でも、練習しなければ、もしもの時には使えません。このような訓練を繰り返し行っていくことが大切なのです。

また、西原地区には消防団があります。自然災害時には、消防車や救急車がすぐに来ないことが予想されます。そんな時は、日頃から厳しい練習をして、有事に備えている消防団の方々が頼りになります。

皆さんは、学区にある東京都消防学校で行われる「消防操法大会」をご存知ですか？消防団が訓練してきた消防操法を披露する大会です。私は、去年から参加しているのですが、とても迫力があります。地域の方々も参観できる一般席もあります。6月7日(日)13:00~です。街の消防団の活躍を見に行きませんか。



非常時はプールの水が活用されます。